

2024年10月15日

QB 第二号ファンド 「株式会社エイトノット」への出資について

当社のグループ会社である NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 林 弘喜）は、本日、「QB 第二号ファンド『株式会社エイトノット』への出資について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2024年10月15日

QB 第二号ファンド 「株式会社エイトノット」への出資について

NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 林 弘喜）は、QB キャピタル合同会社（代表社員 坂本 剛、本藤 孝）と共同で運営する、「QB 第二号ファンド」（以下「本ファンド」）において、「株式会社エイトノット」（代表取締役 木村 裕人、以下「当社」）に出資しましたので、お知らせします。

NCB ベンチャーキャピタルは、地域金融機関として、本ファンドを通じて積極的な創業支援を行い、地域産業の発展や雇用の創出に貢献してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社エイトノット
本 社 住 所	大阪府堺市北区長曾根町 130 番地 42 S-Cube 本館 313 号
代 表 者	代表取締役 木村 裕人
設 立	2021 年 3 月
事 業 内 容	水上モビリティ向け自律航行システム※1の開発・販売

※1 自律航行システムとは、各種センサーをもちいて船舶周囲の物体を認識し、衝突の危険のある物体を回避したり、航路に戻ったり、人間の判断が介在することなく、自動で航行するシステムのこと。

2. 対象企業の特長

- 当社は、AI とロボティクスの知見を持つ共同創業者（代表取締役 CEO 木村 裕人、取締役 CTO 横山 智彰、COO 堂谷 香菜子）により設立され、操船制御・物体認識・ルート生成などの要素技術※2で構成される自律航行システムを開発するスタートアップ企業で、船舶事故の減少や船員不足などの課題解決を目指しています。

※2 要素技術とは、製品の根幹をなす技術のこと。

- 当社は、広島商船高等専門学校の研究者を技術顧問に迎えたほか、既存の船舶に後付け可能な自律航行システム「エイトノット AI CAPTAIN」を市販しており、顧客への導入が拡大するフェーズにあることから、今後の成長が期待されます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
NCB ベンチャーキャピタル TEL092-731-8010
担当 原田・井土

参 考

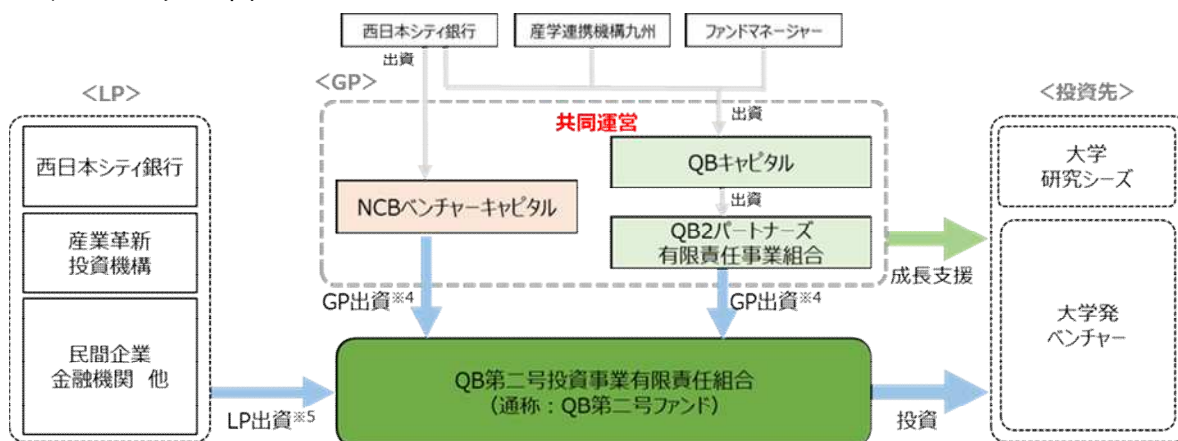
『QB 第二号ファンドについて』

1. 本ファンドの概要

名 称	QB 第二号投資事業有限責任組合（通称：QB 第二号ファンド）
ファンド総額	約 70 億円
無限責任組員（GP ^{※2} ）	QB2 パートナース有限責任事業組合 ^{※1} （QB キャピタル） 株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
有限責任組員（LP ^{※3} ）	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産業革新投資機構 民間企業、金融機関 他
設 立 日	2021 年 4 月 30 日（存続期間 10 年）

- ※1 QB2 パートナース有限責任事業組合：本ファンドを運営するために QB キャピタル等が設立した組合
- ※2 GP（General Partner）：ファンドの運用主体となる無限責任組員
- ※3 LP（Limited Partner）：ファンドの出資者となる有限責任組員

2. ファンドスキーム図



- ※4 GP 出資：ファンドの運用主体となる無限責任組員が約束する出資金額
- ※5 LP 出資：ファンドの出資者となる有限責任組員が約束する出資金額

3. 運営会社の概要

商 号	株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 2 丁目 5 番 28 号 天神西通りセンタービル 8 階
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
株 主	株式会社西日本シティ銀行（100%）
代 表 者	林 弘喜

商 号	QB キャピタル合同会社
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
出 資 者	株式会社産学連携機構九州 株式会社西日本シティ銀行 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

以 上